

建設業における死亡災害が急増しています。

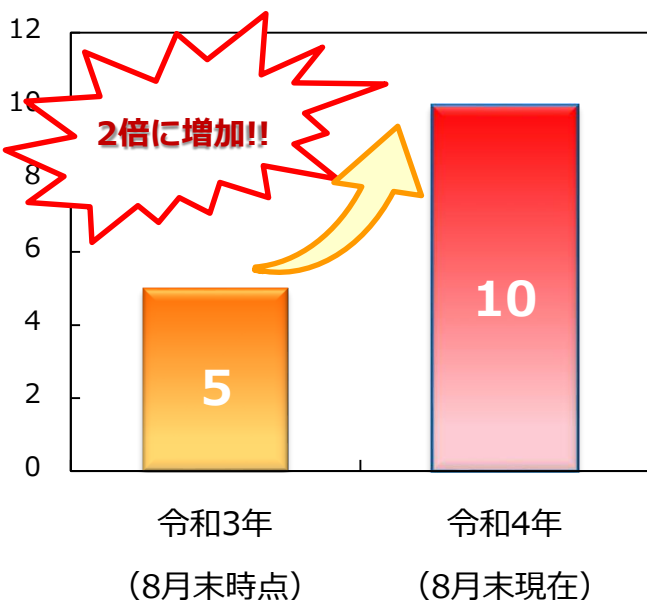


『リスク無くして、ゼロ災害』

大阪府内の建設業において、
令和4年8月末現在で10名の方が亡くなっています。

労働災害による死亡者をこれ以上発生させないために、建設工事現場内における安全対策の徹底と全ての労働者が安全・安心に働くことのできる職場の実現に取り組みましょう。

死亡者数（建設業）



積極的に以下の取組をお願いします。

- 1 経営のトップによる
現場の安全パトロールの実施
- 2 安全衛生管理体制の整備等
- 3 安全衛生教育等の推進
- 4 リスク“ゼロ”大阪推進運動

～ 取り組もう！ 5つの活動 ～

安全見える化活動

安全 Study 活動

リスク評価推進活動

命綱GO活動

今日も一日ご安全に活動

災害防止のためには、元請事業者のみならず工事関係者の皆様の取組が不可欠です。

裏面に死亡災害の事例を掲載していますので、同種災害を発生させないよう積極的な取組をお願いします。

番号	事故の型	起因物	災害発生状況
1	墜落・転落	足場	鉄骨造 6 階建テナントビル新築工事現場において、外壁のコーキング作業を行っていたところ、5 階付近の足場から墜落した。
2	飛来、落下	支保工	水路の補強工事のために護岸に設置していた土止支保工の解体中、切梁と腹起の接続ボルト 1 本を残し取り外したところ、切梁とともに腹起（H 鋼）が落下し、下敷きとなった。
3	墜落、転落	建築物、構築物	陸屋根の 4 階建てマンション屋上で、塔屋上に設置された貯水槽の交換にかかる見積りのため、当該貯水槽に設けられた垂直タラップを登っていたところ、垂直タラップと共にマンション西側隣地の屋根付駐車場の折板屋根（ルーフデッキ）上に約 13 m 墜落した。
4	墜落、転落	トラック	下水管引き込み工事現場において、ダンプトラックの運転席の扉を開けた状態で後進させていたところ、扉が道路脇のポールにあたり、はずみで運転席から墜落した。
5	激突され	建築物、構築物	建物の解体現場において、壁の解体作業を行うにあたり、3 面の壁の解体を終え、残りの壁 1 面を転倒工法により解体するため、ハツリ作業等を行っていたところ、壁が内側に倒れてきて挟まれた。
6	飛来、落下	フォークリフト	電気及び圧縮空気配管の据付工事現場において、木箱に入った配電盤（重さ約 2.3 t）をトラックからフォークリフトで荷下ろしする際、荷が傾き倒れ落ちそうになったため、支えようとしたが支えきれず落ちてきた荷の下敷きになった。
7	飛来、落下	その他の動力クレーン等	昇降路 3 階付近に停止したゴンドラ上にて、カウンターウエイト側ガイドレールの立設作業中、12 階床付近に設置していた揚重機（チルクライマー、自重約 100 kg）が落ちてきた。
8	墜落、転落	足場	3 階建て戸建住宅新築工事において、3 階部分の足場上で塗装作業中に墜落した。
9	墜落、転落	建築物、構築物	R C 7 階建て新築工事の 6 階において、7 階スラブ型枠解体作業中、パイプサポートを取り外した際、型枠材が落下してきたため、避けようとしたところ、ベランダから、1 階に降ろしていたロングスパンエレベーターの搬器上に墜落した。
10	墜落、転落	足場	トイレの男女の境界壁の解体作業において、高さ 1.5 メートルのステージを設けて、ステージ上でブレイカーを用いて壁の破碎作業を行っていたところ、ステージ上に倒れこみ、壁と反対側からコンクリートの床に転落した。